

写真でふりかえる 十勝この1年

2020年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、十勝農業も影響を受けた。

これまでとは異なる景色となったこの1年を、十勝毎日新聞に掲載された記事

(20年3月～21年3月)から振り返る。



1 牛の着ぐるみ姿で体操 JAひろおが牛乳消費PR

JAひろおは、新型コロナウイルスの影響による職員の運動不足解消と牛乳消費拡大を目的とした「ラジオ体操」を続けている。(6月22日)

2 ウィズコロナの景色 「JAおとふけ青果管理センター」

作業者が隣り合う場所にビニールシートを張り、感染予防を図るJAおとふけの選果場。働き手の健康を守ることが、十勝から全国へ、食料の安定供給につながっている。(8月14日)

3 オンラインで会議を 農協連と各JAにテレビ会議システム

十勝農協連は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、オンラインで会議ができるよう、帯広市内の農協連ビルと管内24JAにテレビ会議用の機器を配備した。(9月7日)

4 秋の味覚を車中から 大正メークイン まつり代替販売 JA帯広大正

「帯広大正メークイン収穫感謝市」が9月22日に開かれた。コロナの感染予防のため、農産物の貯蔵施設内に会場を設け、注文の受け付けと支払い、商品の引き渡しをドライブスルー形式で行った。(9月22日)

5 牛の熱射病、日射病大幅減 暑熱対策の進展で

道内で夏場の日射病・熱射病にかかる乳牛、肉牛の件数が大きく減少している。極端な暑さが続いていないことに加え、牛舎内の暑さ対策が進んでいることが要因とみられている。(9月26日)